

恵み あるうちに

長岡キリスト恵み教会だより第111号

(2018年10月発行)



キリスト信仰の

土台である復活

クリスチャンと話をすると、クリスチャンは、キリストが歴史上の事実として墓の中からよみがえられたと信じていることが分かります。事実、世界中のクリスチャンは、復活を文字通りに信じています。

そして、聖書を調べると、イエス・キリストの復活が信仰の土台であることが分かります。そのためにキリスト信仰に反対する多くの者たちが、復活は実際にはなかったと証明しようとしてきました。

特別伝道集会のご案内

日時：11月 10日(土) 午後 2:00 ~ 午後 7:30 ~
 11日(日) 午前 10:30 ~ 午後 7:30 ~
 12日(月) 午前 10:30 ~

講師：桜井 琢也師 (札幌白石キリスト教会 牧師)



クリスマス特別伝道集会のご案内

日時：12月 15日(土) 午後 2:00 ~ (子供向け人形劇)
 午後 7:30 ~
 16日(日) 午前 10:30 ~ 午後 7:30 ~
 17日(月) 午前 10:30 ~



場所：長岡キリスト恵み教会

京都府長岡京市長岡一丁目 2-6

Tel/Fax 075(955)4582

ホームページ：http://megumi-church.com/nagaoka

※すべて入場無料です。お気軽にお越しください。



定例集会

—日曜日—	
日曜学校	am 9:00 ~
礼拝	am 10:30 ~
中高生クラス	pm 2:00 ~
聖書学び会	pm 6:00 ~
—水曜日—	
婦人会	am 10:00 ~
ジョイクラス (中高生祈り会)	pm 5:30 ~
祈り会	pm 7:30 ~
—土曜日—	
聖書学び会	pm 3:00 ~
聖書学び会	pm 7:30 ~



当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理研)、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)等とは一切関係がありません。これらの団体でお悩みの方は、是非ご連絡下さい。

また、聖書を記したパウロ自身も

「キリストが復活されなかったのなら、私たちの宣教は実質のないものになり、あなたがたの信仰も実質のないものになるのです。」
(第一コリント十五章十四節)

と語っています。キリストの復活がキリスト信仰の中心であり、土台なのです。



復活の証拠

全ての人がまず知っておくべきことは、キリストの墓が空になった、ということとです。多くのキリストを信じない人たちがこのことについて説明を試みました。

①弟子たちがキリストのおからだを盗んだという説

弟子たちにはキリストのおからだを盗む理由はありませんでした。彼らにはそんな勇気も力もありませんでした。また、彼らはキリストの復活の後、いのちをかけてキリストの死と復活を宣べ伝えました。もし彼らがキリストのおからだを盗んだと言うならば、彼らは嘘をいのちをかけて宣べ伝えたといいことになりません。それはあり得ないことです。人間は自分の身を守るために、嘘をつきます。嘘のためにいのちを捨てるということはいけません。



②ユダヤの指導者やローマ政府がキリストのおからだを盗んだという説

彼らにはそのようなことをする意味がありません。そのようなことをしても、彼らに益はありませんでした。また、弟子たちがキリストの復活を宣べ伝えた時に、彼らがキリストのおからだを盗んでいたのであれば、そのおからだを提示すればよかったです。しかし彼らにはそれができませんでした。彼らはキリストのおからだを持っていなかったのです。また、もう一つの大きな事実はキリストの復活後の姿を見た者が多くいたということです。

使徒パウロは

「キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました」

(第一コリント十五章六節)

とコリント人への手紙で記しました。この手紙は、キリストの十字架・復活後およそ二十五年後に書かれたものです。一世紀半にはキリストの復活を証言できる者たちが数百人も生きており、そして彼らの内の多くの者はキリストのためにいのちを捨てたのです。

キリストが復活されたということはこのように証明出来る事実であり、そして復活されたキリストは生ける神の御子であるのです。



復活によって 示された救い

では、キリストは、どうして十字架上で死なれ、また復活される必要があったのでしょうか？それは人間の罪の罰を身代わりに受けるためでした。

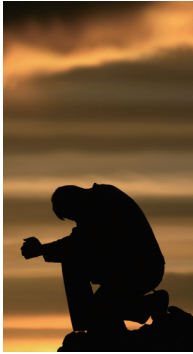
「キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれた」
(第一コリント二五章三節)

全ての人は生まれた時からの罪人であり、数々の罪を神様に対して犯しています。偽の神を拝み、人を妬み、悪口を言ったりします。また、この世界を造られた真の神を礼拝せず、心も向けず、歩んでいるのです。その罪のゆえに人間は死後、裁きを受けなければなりません。それが永遠の

火の池、地獄での裁きです。

「しかし、おくびよう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。」
(ヨハネの黙示録二二章八節)

人間は死後、それぞれの行いに応じて、裁かれなければなりません。



しかし、神は私たち人間を愛しておられます。そのために、救いの道を用意してくださいました。

神は、神の御子であられるイエス・キリストをこの地上に遣わされました。イエス・キリストは三十数年の生涯の最後に十字架に掛かられ、死んでくださいました。全人類の罪を身代わりに背負い、死んでくださったのです。そして死後三日目に復活によって、ご自身こそ真の神の御子であり、救い主であることを実証されました。

「イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」
(ヨハネの福音書

一一章二五、二六節)

あなたもこのイエス・キリストを自分の救い主として信じるならば、全ての罪が赦され、もはや地獄に行くことはありません。永遠のいのちが与えられ、神の子どもとされ天国に行けるのです。イエス・キリストをご自分の救い主として信じ、受け入れてくださいますようにお勧めします。

